

施策番号	2405		
施策名	重層的な住宅セーフティネット（安全網）の構築		
概要	高齢者、障害者、低額所得者等の住宅確保要配慮者に対し、安定した居住を確保するため、市営住宅をはじめ、これを補完する公的賃貸住宅や民間賃貸住宅等を活用した重層的なセーフティネットの構築を目指す。		
担当局・部室	都市計画局・住宅室	共管局・部室	
上位政策	24 住宅		
施策に関する主な分野別計画等	京都市住宅マスタープラン		

施策の評価

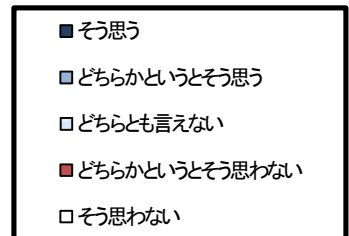
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1	バリアフリー化による固定資産税の減額を受けた件数(件)	-	-	23	23	25	92.0%	b	1.00
2	高齢者向け賃貸住宅(高齢者向け優良賃貸住宅、高齢者専用賃貸住宅)の戸数(戸)	-	-	794	817	820	99.6%	a	0.50
3	市営住宅の当該年度の公募戸数(戸)	-	-	659	677	700	96.7%	b	0.50
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価								a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1	低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。	11	66	228	112	90	507	d
		2.2%	13.0%	45.0%	22.1%	17.8%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
市民生活実感調査総合評価								d



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	d		
(重み付けの理由) 客観指標は、高齢者や低所得者等に対して、安全な住まいの供給状況を示しているが、市民 実感は、十分に確保できているかをより直接的に表す指標であるため						年度	-
(原因分析) ・高齢者向け優良賃貸住宅、高齢者専用賃貸住宅、高齢者円滑入居賃貸住宅等の高齢者向け の住宅供給や、介護保険による住宅改修の支援についての認知が一定進んできているものの、 高齢化の進行や生活・雇用が不安定である現状などから、セーフティネットとしての住宅の確保に 対する市民生活実感評価は低くなっていると考えられる。						年度	-

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	地域優良賃貸住宅(一般型)供給促進事業(旧特定優良賃貸住宅供給促進事業)	980,682	947,525	かなり良い	都市計画局
2	久我の杜シニア住宅建設事業	10,471	9,924	良い	都市計画局
3	地域優良賃貸住宅(高齢者型)供給促進事業(旧高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業)	149,187	140,543	良い	都市計画局
4	京都市あんぜん住宅改善資金融資制度	450,159	581,216	かなり悪い	都市計画局
5	市営住宅	4,344,941	5,146,110	良い	都市計画局
6	住宅審議会	0	8,401	-	都市計画局
7	市営住宅改善事業	2,818,974	1,392,500	-	都市計画局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・住宅確保要配慮者の居住の安定を確保するための受皿として民間賃貸住宅の活用を進めるため、福祉分野等との連携や既存住宅の改修等による優良な賃貸住宅の普及促進を進める。

・住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居の円滑化の推進や住宅確保要配慮者それぞれの属性に応じた住情報を一元的に提供できる仕組みを構築する。

施策名	2405	重層的な住宅セーフティネット（安全網）の構築				
指標名	バリアフリー化による固定資産税の減額を受けた件数（件）					
担当課	住宅政策課		連絡先	2 2 2 - 3 6 6 6		
1 指標の説明						
住宅のバリアフリー化による固定資産税の減額申請件数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
住宅ストックの良質化のための適正な維持管理や更新がなされていることを端的に示す指標			出典：資産税課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	23	23	増減なし	25	平成31年度の目標値として46件を設定し、現況値との差から直線補完により各年度の目標値を算出	92.0%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		46件	31年度		京都市住宅マスタープランにおけるバリアフリー改修率の目標値への伸び率を参考として約2倍の伸び率と想定	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
達成度（最新数値／単年度目標値）が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：60%以上80%未満 d：40%以上60%未満 e：40%未満		達成度（単年度目標値に対する最新数値の割合）100%をaとし、20%ごとに区分			23	
				-	b	
指標名	高齢者向け賃貸住宅（高齢者向け優良賃貸住宅、高齢者専用賃貸住宅）の戸数（戸）					
担当課	住宅政策課		連絡先	2 2 2 - 3 6 6 6		
1 指標の説明						
高齢者向けに整備された賃貸住宅の住戸（高齢者向け優良賃貸住宅、高齢者専用賃貸住宅）の戸数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
高齢者が安心して暮らせる住宅の提供戸数を示す指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	794	817	23戸増	820	高齢者向け優良賃貸住宅の過去の供給伸び率から算出した数値	99.6%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
達成度（最新数値／単年度目標値）が a：90%以上 b：80%以上90%未満 c：70%以上80%未満 d：60%以上70%未満 e：60%未満		達成度（単年度目標値に対する最新数値の割合）が90%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。			23	
				-	a	

施策名	2405	重層的な住宅セーフティネット（安全網）の構築									
指標名	市営住宅の当該年度の公募戸数（戸）										
担当課	住宅政策課	連絡先	2 2 2 - 3 6 6 6								
1 指標の説明											
年4回実施している市営住宅の公募戸数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
低額所得者に対するセーフティネットとしての住宅が一定量確保できたかどうかを示す指標			算出方法：京都府内の要支援世帯数に対して必要な公募戸数を京都市分として割り戻す。 出典：京都府住生活基本計画								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度					
	21年度	22年度		数値	根拠						
数値	659	677	18戸増	700	京都府内の要支援世帯数に対して必要な公募戸数を京都市分として割り戻す。	96.7%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値		700戸	27年度		数値については、多回数落選枠（過去11回以上落選した方の枠）と特定目的枠（子育て世帯優先選考枠等）を含む。						
		京都府内の要支援世帯数に対して必要な公募戸数を京都市分として割り戻す。									
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値が a：700戸以上 b：650戸以上700戸未満 c：600戸以上650戸未満 d：550戸以上600戸未満 e：550戸未満		京都府内の要支援世帯数に対して必要な公募戸数を京都市分として割り戻した戸数700戸を達成した場合をaとし、700戸未満については50戸刻みとしたうえで、b以下を設定し基準を作成		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>b</td> </tr> </table>				23	-	-	b
		23									
-	-	b									